

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	基礎デザイン実習A	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	授業中に配布、掲示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	中田和彦	実務経験の有無・職種	有・画家		
<b>学習目的</b>					
<p>この実習で学生は、鉛筆によるデッサンやスケッチの課題をとおして、描画力と表現力の基礎を身に付けます。</p> <p>具体的には、モチーフとなる対象物から様々な情報を引き出せる感受性と観察力を養い、それらを二次元平面上に展開していく技術を学びます。描画力を背景に人に伝達していくプロセスを通じて視覚伝達のトレーニングを行います。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>本格的なデッサンの授業を初めて受講する学生を前提として、鉛筆他、道具の使い方から順を追って指導します。目を凝らして対象(モチーフ)と向き合い徹底的に描きこむ体験を重視します。数多くの課題をこなすことと他の人の完成作を見ることで自身の描画力を上達させます。</p>					
<b>授業概要</b>					
授業概要	<p>とにかく手を動かして、描くことで今までより深く物の見え方をとらえるトレーニングをします。基本形態を応用する基礎課題を数種ルイ、人体表現の課題を数種類行います。技法等の解説のあと、ひとりひとりが描いているところに指導教員がまわってアドバイスをします。自信がなかったり、なかなかうまく描けないこともあります。まずは描かないとアドバイスが受けられないので積極的に課題制作に取り組みましょう。</p>				
注意点	<p>課題制作した自身の作品は、丁寧に保管し大切に扱うこと。使用する道具と教室はきちんと管理をして常に手入れを怠らないこと。持参する道具を忘れないこと。貸し出しはしません。課題の提出期限は守ること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン				
	課題完成度	80%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	授業オリエンテーション	道具解説 他 描画トレーニング「グラデーション」			
2回	基本形態①	立方体			
3回	応用形態①	ティッシュ箱			
4回	基本形態②	円柱			
5回	応用形態②	缶			
6回	基本形態③	球体 黒画用紙に白色鉛筆			
7回	応用形態③	野菜・果物			
8回	作品制作①	静物1			
9回	作品制作②	静物2			
10回	人体表現①	手			
11回	人体表現②	自画像1			
12回	人体表現②	自画像2			
13回	人体表現③	人物クロッキー			
14回	作品制作③	友達を描く1 グラザイユ技法			
15回	作品制作③	友達を描く2 グリザイユ技法			